

森

林環境学習

学校だより

笑顔  
本小つ子Ⅲ

10月号⑯  
2025.10.22(木)

文責 本宮小校長 佐久間仁

四年生がフォレストパークあだたら（県民の森）を訪れ、森林について学習しました。県の非常事態宣言を受け、熊対策を十分行つた上で、森林館周辺の安全なエリア内で行いました。子どもたちは森の案内人の方の説明を聞きながら、見る、聞く、触る、においを働かせて、自然の醍醐味や素晴らしさを感じ取っていました。お昼は、広場にシートを敷いて美味しいお弁当をいただきました。午後は、森林学習館で、森の間伐材を用いた木工クラフトを取り組みました。森の案内人さんから手ほどきを受けながら、ウサギやカメなど、お気に入りの動物を楽しく作ることができました。どの作品もオリジナリティ溢れる、

可愛らしい素敵な作品ばかりでした。森林環境学習の思い出の品になることでしょう。今回の森林環境学習を実施するにあたり、森の案内人さんには、事前の打ち合わせや準備、安全対策など、きめ細かな対応をしていただきました。お陰様で子どもたちは、安心して楽しく有意義な活動をすることができました。心より御礼申し上げます。

保護者の皆様も、朝早くからお弁当の用意や持ち物の準備などをしていただき、誠にありがとうございました。ご理解とご協力に感謝します。

子どもたちの感想（一言）

- 森の中を歩いて、楽しかった。
- 自然を感じることができた。
- 自然のことがよくわかった。
- 自然はいろいろなことをしていることがわかった。
- コブシの実を初めて見た。
- 木の実にはいろいろな種類があった。
- 木の実を採るのが楽しかった。
- 木の実を食べてみたら美味しかった。
- イモリの腹を見たら赤かった。
- 木の実のことが分かつてよかったです。
- 木の実を採るのが楽しかった。
- カナチョロ探しも楽しかった。



※この森林環境学習は、福島県の森林環境税が活用された事業です。児童が環境保全や防災、水の浄化など、森林が果たす役割を学ぶ、貴重な機会となっています。関係各位のご協力に感謝します。

学習発表会に向けて

（下見会）

二年生は、音楽科で習った曲の数々を、動きを入れながら歌つたり、リズムに乗つて鍵盤ハーモニカで演奏したりしました。二年生の学級（学年）の合い言葉「あ・い・う・え・お」の意味が見る（聴く）人に伝わるよう頑張っています。二年生の成長した姿をご覧ください。